

1 題材名 どうぶつむらのピクニック

2 題材の目標

- 身近材料などを利用して好きな動物をつくったり、みんなで飾ったりして楽しもうとする。
(造形への関心・意欲・態度)
- つくってみたい動物を思い付き、材料を選んだり特徴を生かしたりして、自分らしい表現を追求する。
(発想や構想の能力)
- 材料を切る、つなぐ、はり合わせるなどして組み合わせ、表したい感じを工夫することができる。
(創造的な技能)
- 友人の思い付いた動物の形や面白さ、よさなどに気付く。
(鑑賞の能力)

3 題材について

(1) 教材観

本題材は、紙の空き箱を主材料にして動物をつくっていくものである。赤い箱や細長い箱等、材料の形や色から想像を広げ、材料の特徴を生かし、つなげたり組み合わせたりしていく。身近な材料と十分に触れ合い、材料のつなげ方や組合せ方などを工夫して活動する中で、材料に簡単な加工を施したり、色紙などを使って自分で形をつくったりすることもできる題材である。最後にはつくった動物をどのように集めれば楽しくなるかを話し合っ「どうぶつむら」をつくることで、友人と交流しながらお互いのよさを感じ取ることができる題材であると考え。

(2) 児童観

小学校に入学して2か月が過ぎ、落ち着いて話を聞いて学習に臨めるようになった。図工の学習では、クレヨンや色鉛筆、カラーペンなどの描画材料を使って絵を描いたり、はさみやのり、木工用ボンド、セロハンテープ、ビニルテープなどを使って工作をしたりしてきた。石や木などの身近な材料を意欲的に集めることもできるようになってきた。また、グループでの活動を取り入れて、隣の席の児童と話し合ったり教え合ったりする機会を設けてきたので、自分と違う材料や用具の使い方や作品のつくり方を認めることもできてきた。多くの児童は図工の学習を楽しみにしている。しかし、一方で、毎日の生活の中で材料と十分に触れ合うことができないために材料から感じる思いを作品に生かすことが難しい児童や、細かい作業がうまくできずイライラして作品を壊してしまう児童がいることも現状である。

(3) 指導観

たくさんの材料から生まれてくるイメージをもたせるためにも、普段から空き箱やトイレットペーパーの芯などの身近材料を多く集めさせたい。自分の好きな動物に対する思いと材料から受ける新しいイメージの両方を作品につなげさせ、自由に楽しく作品をつくらせたい。そして鑑賞の段階では、自分の作品のよさだけでなく友人の作品のよさや「むら」として集まった仲間のよさも十分に味わわせたい。

4 学習計画（6時間扱い）

時	主な学習内容・活動	評価の内容（観点・方法）
1	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がつくってみたい動物を考えて発表する。 ・集めた空き箱の特徴を基につくりたいものを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな動物を想像することを楽しもうとしている。 (関心・意欲・態度…観察、発表) ・材料の特徴に興味をもち、意欲的に見立て遊びをしようとしている。 (関心・意欲・態度…観察)
2 3 4	<ul style="list-style-type: none"> ・集めた材料を組み合わせたり、切ったり、つなげたりしながら、自分のつくりたい動物をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・つくりたい動物の特徴を自分なりに考えて、想像を広げている。 (発想や構想の能力…観察) ・材料に触れながら、つくってみたい動物のイメージを豊かにふくらませ、表したい形を工夫している。 (発想や構想の能力…観察、作品) ・紙の空き箱や紙を切る、組み合わせる、はるなど、自分の思いの広がりとともに、表し方を工夫しながらつくっている。 (創造的な技能…観察、作品) ・動物以外に「どうぶつむら」に必要なポストや看板、池や木などを思い付き、進んでつくろうとしている。 (関心・意欲・態度…観察)
⑤ ⑥ 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・完成した作品を集め、「どうぶつむら」をつくる。作品をつくった自分や友人の思いや工夫を話したり書いたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友人と協力して動物を並べ、「どうぶつむら」をつくって交流しながら、新たな動物をつくったり、動物の住む池や山をつくったりしている。 (創造的な技能…観察、作品) ・友人のつくった動物の形や面白さ、よさなどを話したり書いたりしている。 (鑑賞の能力…観察、手紙)

【共通事項】の視点から	・空き箱の形や色などを基に、つくりたい動物のイメージをもつ。
-------------	--------------------------------

5 本時の学習

- (1) ねらい 友人と話し合っ「どうぶつむら」をつくり、動物をつくった友人の思いやつくり方の工夫を話したり書いたりすることができる。
- (2) 準備・資料 教師…画用紙、色画用紙、模造紙、マジックペン、木工用ボンド、粘着テープ、セロハンテープ、手紙用紙、手紙の見本、ポスト
 児童…各自がつくった動物、はさみ、のり、鉛筆、探検バッグ
- (3) 展開（2時間連続）

学習活動	指導上の留意点と評価 ◎は評価 ◇は言語活動の充実の視点から
<p>1 本時の課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> みんなでたのしいどうぶつむらをつくろう。 </div> <p>(1) 「どうぶつむら」がどのようなところだったら楽しいかを考える。 【予想される児童の考え】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山や川がある。 ・池の周りに集まっている。 ・みんなでサッカーをしている。 ・たくさんの動物が仲良くしている。 ・動物の家がある。 <p>(2) 話し合った「どうぶつむら」をつくる。 【予想される児童の活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャングルをつくる。 ・池をつくり動物を入れる。 ・岩や木をつくる。 ・ラシャ紙で地面をつくり、動物を並べる。 ・動物同士の並べ方を工夫する。 ・仲間の動物をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までに一人一人がつくった動物を使って、みんなで「どうぶつむら」をつくることを伝える。 ・「どうぶつむら」はどのようなところで、住んでいる動物はどのように集まって過ごしているかを考えさせ、発表させる。 ・多くの意見を取り入れられるよう、小さいいくつかの集まりができてよいこととする。集まる種類や住んでいる場所ごとにグループをつくることできるようにする。 ・「どうぶつむら」をどこにつくったらよいか考えさせる。教室ではなく図工室や生活科室、体育館などが予想されるので、展示場所はあらかじめ確保しておく。移動する場合はスムーズにできるよう準備しておく。 ・山や池、木などが必要であれば、グループで話し合いながらつくるよう助言する。 ◇動物をどこにどのように配置すれば楽しいむらになるかを話し合いながら、グループで協力できるようにする。 ・見ているだけでなく、並べた動物で遊んだり、近くの場所にピクニックに行くことで、他の作品のよさを味わえるように助言する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ◎ 友人と協力して動物を並べ、「どうぶつむら」をつくって交流しながら、新たな動物をつくったり、動物の住む池や山をつくったりしている。 （創造的な技能：観察、作品） </div>
<p>2 友人のつくった動物のよいところを探して、手紙を書く。 【予想される児童の記述】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きくて本物みたい。 ・足が太くて強そう。 ・羽根の模様がきれいに描いてある。 ・たくさん仲間がいて楽しそう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・むらづくりの際に自分の意見をあまり出せなかった児童には、動物のよいところ探しの手紙を書くよう励ます。 ・数枚ずつ手紙の用紙を配り、探検バッグにはさんでおくよう指示する。 ◇分かりやすく説明するために、動物のよいところを具体的に書いた手紙を拡大したものを提示する。書いた手紙をポストに入れるところを実際に見せる。 ◇よさを友人と話し合わせながら手紙を書かせたい。 ・自分と同じ種類や同じ場所にいる動物だけではなく、違う動物のよさも記すよう助言する。 ・山や池に集まっている小さな集団のよさにも気付かせたい。 ・手紙の用紙を多く用意しておき、配った用紙で足りない場合に備える。 ・自分のつくった動物に手紙を書いてもよいことを伝える。 ・自分の名前を記してからポストに投函させる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ◎ 友人のつくった動物の形や面白さ、よさなどを話したり書いたりしている。 （鑑賞の能力：観察、手紙） </div>
<p>3 本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・思ったことや感じたことを文字で表現できない児童には、動物の絵を書いてよいところを○で囲むなど、感じたことを友人に伝える方法を知らせる。 ◇よさが具体的に書かれた手紙をポストから数枚取り出し、読んで聞かせる。 ・次回の図工の時間まで「どうぶつむら」を展示しておき、本時で書けなかった動物にも休み時間などを利用して手紙を書いてよいことを知らせる。また、他学年の児童や教師にも展示を伝えるので、手紙をもらうことがあるかもしれないということを児童に告げる。次回の図工の時間にもらった手紙をそれぞれが読むことを知らせる。